

事務事業シート(実施計画事前基礎シート)

(H.23)No.	5007	(H.24)No.	5007
-----------	------	-----------	------

事務事業名		老人福祉センター管理費	
担当部局名	担当室名	室長名	連絡先
生活環境部	人権・男女共同参画推進室	久保 敬子	63-7559
新・継	事業期間	根拠法令等	
継続	昭和 58 年度 ~ 平成 年度	老人福祉法	

事業区分 (複数選択可)	ソフト施策事業
	扶助費
	補助金交付金
	投資事業
	施設等維持管理
	内部管理事務
	特別及び企業会計、組合

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	1	互いに認めあい支えあう、健康で安心できる暮らし
	基本政策	5	自立を支える地域福祉の充実
	施策	1	高齢者福祉
	小施策	3	保健福祉サービスの充実
	重点施策コード		

2. 予算区分

会計区分	事業コード	100701
一般会計	(中事業名)	予算書事業名
款	総務費	老人福祉センター管理費
項	人権政策費	(小事業名)
目	老人福祉センター管理費	老人福祉センター管理費

3. 事務事業の概要

事業概要	
地域の老人に対して、各種の相談に応じるとともに、健康の増進、教育の向上及びレクリエーションのための便宜を総合的に供与することで高齢者の心身の健康と生きがいを図る。	

めざす効果(事業目的)
高齢者等の家での閉じこもりや要介護状態への予防を図る。

4. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	平成23年度 (実績・決算見込)	平成24年度 (計画・作成時予算額)	現在の実施手法(複数選択可)		
	[事業内容(事業量)・事業費]	[事業内容(事業量)・事業費]	市が直接実施	業務委託(全部・一部)により実施	指定管理
主な事業の実績・計画	賃金 1,567千円 施設維持管理等委託料500千円 工事請負費 1,701千円 施設用備品購入費 334千円 年間利用者 2,710人	賃金 1,623千円 施設維持管理等委託料 248千円 農業集落排水接続工事一式 1,700千円	補助金・交付金	その他 ()	
			平成25年度 (計画)	平成26年度 (計画)	平成27年度 (計画)
直接事業費	4,951千円	4,562千円	賃金1,600千円 施設維持管理等委託料248千円	賃金1,600千円 施設維持管理等委託料248千円	賃金1,600千円 施設維持管理等委託料248千円
財源内訳(千円)					
国庫支出金					
県支出金					
地方債		1,700			
その他()					
一般財源	(0) 4,951	2,862	2,800	2,800	2,800
人工数					
職員	0.50人	0.55人	0.55人	0.55人	0.55人
臨時職員等	1.00人	1.00人	1.00人	1.00人	1.00人
概算人件費	(0千円) 3,650千円	4,015千円	4,015千円	4,015千円	4,015千円
+ 総事業費	(0千円) 8,601千円	8,577千円	6,815千円	6,815千円	6,815千円

概算人件費 は、人工数に便宜上、1人当たり年間平均人件費(市一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載しています。平成23年度の()内の数値は、22年度からの繰越事業費で、外数で記載しています。特別会計及び組合会計の一般財源欄には当該会計上の一般財源を、企業会計の一般財源欄には一般会計繰入金を記載しています。平成25年度以降の計画(内容及び総事業費)については、予定であり確定したものではありません。

5. 主な事業指標と成果

事業指標名		単位	H.20 (現状値)	H.21	H.22	H.23	H.24
活動指標	目標	老人福祉センター利用者数 (H21: 娯楽施設、H22施設全体)	-	-	-	-	-
	実績			530	2,384	2,710	
成果指標	目標	生きがいを感じながら、安心して暮らしている 高齢者の割合	-	-	-	-	78.0
	実績		77.6	82.4	75.4	74.9	
	目標						
	実績						

6. 考察(前年度の評価)及び今後の対応方針

考察(前年度の評価-各指標等)	今後の対応方針
施設利用者数は順調に目標を達成できているが、生きがいを感じている高齢者数にはばらつきがある。	引き続き事業を推進し、より良い成果を得られるよう努める。

7. 事業を取り巻く環境

事業環境の今後の変化 (対象者やニーズ、法令・制度の改正等)	市民・議会・事業関係者・団体等からのこれまでの主な意見
・市の高齢化率の推移(65歳以上が総人口に占める割合) 平成24年5月1日現在23.1%、平成26年25.9%(市推計)	

8. 担当室による点検 [事務事業をより良く(最適化)するために]

点検項目	具体的内容(選択肢 ・ の場合) (4)は の場合
(1) 現在の事業費内で、更に効果を高める方法や工夫等を図ることができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない できない	
(2) 効果・効率性の観点から他の事務事業と連携・統合を図ることができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない できない	
(3) 新たな財源確保や受益者負担の見直し等を図ることができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない できない	
(4) 事業に関係する地域ビジョン(地区別計画含む)はあるか [選択肢] ある ない ある	赤目地域ビジョン【地域福祉の推進】 4 地域が支え合う支援の輪
(5) 事業に地域ビジョンの内容を反映しているか(反映するか) [選択肢] 反映済み 反映を予定 反映予定なし(該当しない) 反映済み	老人福祉センターを介し地域住民の交流を図り、 高齢者の孤立の防止や健康と生きがいづくりに 貢献している。
(6) その他、有効性や効率性を高めるための工夫や取組を図ることができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない できない	

9. 今後の方向性(担当室による内部評価)

[選択肢] 継続(事務改善) 継続(現行) 継続(拡大) 休止・廃止検討 事業完了(完了予定含む) 継続(現行)
「継続(現行)」の場合のみ理由を記載 施設の規模が小さいため、現行どおり継続する。

特記事項

5007
款 民生費 総務費
項 同和対策費 人権政策費
に変更